



2020年5月14日

各位

会社名 株式会社中央製作所
 代表者名 代表取締役社長 後藤 邦之
 (コード番号 6846)

問合せ責任者 取締役総務部長兼研究開発部長 柘植 良男
 (TEL 052-821-6166)

通期業績予想と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

2019年8月9日に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、2020年3月期の剰余金の配当につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●通期業績予想と実績値との差異について

2020年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,400	25	30	20	25.85
今回実績値(B)	4,350	10	21	38	49.60
増減額(B-A)	△49	△14	△8	18	
増減率(%)	△1.1	△59.4	△27.8	91.9	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	5,494	241	263	208	269.70

2020年3月期通期個別業績予想と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,300	35	25	32.31
今回実績値(B)	4,337	23	40	52.47
増減額(B-A)	37	△11	15	
増減率(%)	0.9	△31.8	62.4	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	5,401	244	189	245.15

差異理由

当社グループは、経営目標達成に向け、積極的な営業活動を展開した結果、売上高はほぼ計画通りに推移しましたが、利益面に関しては、退職年金資産の運用利回りの悪化などの影響をうけ営業利益が減少したものの、法人税等調整額が戻ったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が増加いたしました。個別業績につきましても、連結業績と同様の要因により当初予想の修正を行うことになりました。その結果2019年8月9日に公表いたしました2020年3月期の連結および個別の業績予想数値と実績に差異が生じることとなりました。

●剰余金の配当について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年5月15日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 25.00
今回修正予想	—	0.00	—	20.00	20.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	0.00	—	25.00	25.00

修正の理由

株主の皆様への利益還元につきましては、経営上の重要な政策の一つと位置付けており、経営体質の強化と今後の事業展開などを勘案し、内部留保にも意を用いつつ、安定的かつ継続的な配当を実施していくことを基本方針といたしております。

本日発表の通り、経営環境の先行きが不透明であり、また、当社の業績や財務状況などを総合的に勘案した結果、当初25円と予定しておりました配当予想を1株につき20円とし2020年6月に開催予定の定時株主総会に付議することを決議いたしました。

以上